

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2018年第3四半期（7月～9月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

ドバイ警察によると、2018年上半期において、個人や企業を対象とした経済事犯は多数取り締まられた。著作権侵害、知的財産侵害に関連した事件を114件捜査し、被害額は8,200万ディルハムを超えた。また、クレジットカード使用、偽札・偽造小切手使用詐欺事件を63件捜査し、被害額は1,200万ディルハムに及んだ。

ドバイ警察は、工業地域において、車両を対象とした窃盗事件が多発していることについて、住民へ注意喚起した。同警察によると、車載のバッテリーを対象とした車上ねらい事件を4件検挙したが、発生場所、発生時間帯はいずれも異なり、被疑者は窃取したパーツを自動車用品店に売却していた。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ シャルジャ首長国（8月24日報道）

シャルジャの工業地区の労働者共同住宅において、アジア人労働者の男は、同僚の男性との間で金銭トラブルを原因として口論となり、同男性を刃物で多数回刺して殺害した。

○ ドバイ首長国（8月30日報道）

デイラ地区のアパートにおいて、アジア人の男2名は、友人の男性とけんかとなり、同男性をナイフで刺して殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（7月20日発生）

アル・バーシャ警察署管内の一般住宅において、UAE国籍の男は、深夜、実兄の自宅へ窓から侵入し、寝室で就寝していた義姉の口を手で塞いで、無理矢理服を脱がせようとするなど強姦しようとしたが、被害者が抵抗して逃げたため、その目的を遂げることができなかった。

○ ドバイ首長国（7月27日発生）

アル・ハワニージュ地区の路上において、バングラデシュ人の男は、ジョギングをしていたUAE国籍の女性に対して、無理矢理胸や下半身を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（8月5日発生）

アル・バーシャ警察署管内において、パキスタン人労働者の男は、深夜、マンションのロビ－の自動販売機においてジュースを買おうとしていた少女2人に対して、身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（8月25日発生）

インターナショナル・シティ地区のアパートにおいて、パキスタン人の男は友人を使って、元恋人の中国人女性の自宅を訪問させ、呼び鈴を鳴らして、同女性が玄関ドアを開けたところ、強引に室内に侵入し、無理矢理服を脱がせて、テープで縛った上、キスをして身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。また、同男らは、被害女性の携帯電話や現金1万2,000ディルハムを強取した。

○ ドバイ首長国（8月発生）

フェスティバル・シティ地区において、エジプト人の男は、タクシー待ちをしていたシリア人の女生徒に対して、警察を名乗った上、呼び止めて、IDの提示を求めた。同男は、さらに、同女生徒を人通りの無いところへ連れて行き、羽交い締めにした上、無理矢理身体をさわるなど、強いてわいせつな行為をした。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国（7月22日発生）

アジア人の男は、アブダビ市内の店舗から現金を輸送していたネパール人の会社従業員の男性の車を追跡し、ドバイのジュベル・アリ地区の交差点で車を衝突させ、同男性を車から降車させた。同アジア人の男と共謀した別の男は、車を停めて車外に出ていた同ネパール人男性を殴り、催涙スプレーを噴射するなどして、所持していた現金約30万ディルハム在中のバッグを強取した。

○ ドバイ首長国（7月29日報道）

ドバイの路上において、湾岸諸国国籍の男は、UAEの民族衣装であるカンドウーラを着用した上、ドバイ警察犯罪捜査局の警察官を名乗って、通行中の自転車に乗車していた男性を停止させ、IDの提示を求めた。同男性が財布を取り出したところ、同男は、同男性の顔面を殴り、蹴るなどした上、現金1,500ディルハム在中の財布と携帯電話2台を強取した。

○ ドバイ首長国（8月11日発生）

ナイフ警察署管内の診療所において、アジア人労働者の男2名は、共謀して、インド人医師の男性を診察室で羽交い締めにし、現金1万ディルハムを強取した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。